



かけはし

岩国市立錦中学校だより 第17号

令和6年(2024年)1月10日(水)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



「信は力なり」～「信じられる自分」になることの大切さ～

とても穏やかな天気のもとで、2024年、令和6年という新しい年を迎えることができました。錦中生、保護者のみなさま、地域のみなさま、明けましておめでとうございます。今年も錦中学校の取組にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

さて、今回は1月9日(火)の始業式における校長式辞を紹介します。

○新しい年を迎えると、誰もが「よし、今年もがんばるぞ」と新しい気持ちになるものです。ここにいる一人ひとりが、今年の自分の目標を自分の心の中に立てたと思います。

○そんな前向きで明るい気持ちになる年頭のはずでしたが、衝撃的なニュースが元旦の夕方に届きました。能登半島地震により、残念ながら多くの命が奪われてしまっています。犠牲者の方々のご冥福をお祈りして、黙禱を捧げたいと思います。

○大変な年明けとなりましたが、みなさんには錦中生としての「誇り」と「自覚」をもって、元気に笑顔で、そして仲良く学校生活を送ってほしいと願っています。

○今年**は辰年**です。辰は十二支の中で**唯一架空の生き物**で、中国では辰は縁起の良い生き物とされています。その意味から辰年は昨年まで努力してきたことが成就する年、辰年にさらに努力することで成功にスピード感をもって近づける年になると言われています。3年生にとっては努力は必要ですが縁起の良い年です。

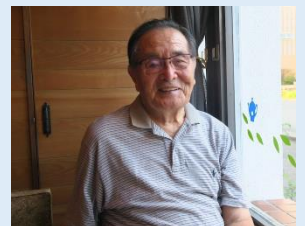
○3年生の教室の入り口に近藤さんと横道さんの筆による「**受験は団体戦**」「**信は力なり**」という言葉が掲示しました。

○「**信は力なり**」という言葉は、高校ラグビーの名門、伏見工業高校の総監督である**山口良治さん**、私たちの世代ではドラマ「スクールウォーズ」の泣き虫先生でおなじみですが、その先生の言葉です。

○とても短い言葉ですが、深い意味のある言葉です。簡潔に言うと「**仲間を信じ、自分を信じるのが力になる**」ということになるのでしょうか。

○私の尊敬する先輩教員が高校2年生の時に伏見工業高校ラグビー部の試合を花園で実際に観戦した時の話です。伏見工業高校の保護者の方から次のような話を聞いたそうです。「仲間を信じることも大切だけど、**仲間**に信じてもらえる**自分**になることが最も大切だよ。そうでないと自分にパスなんか回ってこない。**自分を信じる**ことができるようになるために**練習を重ねる**しかない。」と・・・

○錦中生のみなさんは「**信じられる自分**」になっているのでしょうか。人に対しても、自分に対しても、自分のやることに対しても、信じ切ること、最後まで本気でやり遂げることが「**自分を信じ**



【伏見工業高校総監督 山口良治さん】

る力」となり、その力がいざという時に自分の背中を押してくれるものと私は信じています。

○やると決めたからにはどこまでも信じて、信じ切ってとことん今やるべきことを追求していきましょう。辛い時に心の支えになるものは「努力した過去の自分」です。

○「俺は弱い。でも…俺達は強い。」この言葉はある中学校のサッカー部の部訓です。人間、自分一人だけでは弱いけれど、「仲間」がいるとがんばれるものです。「仲間のことを想う」「仲間を大切に作る」生きていくうえで大切な力です。だからこそ、「受験は団体戦」です。

○最後に3年生は受験や新しい自分の道に向けて、2年生はいよいよ学校の核となる学年に向けて、そして、1年生は後輩が入り、先輩となり、学校に元気を生む学年に向けて、一人ひとりが自覚をもち、集団で前を向く、強くたくましい「錦中魂」をみせてほしいと思います。

○それぞれの学年にとって、とても大切な3学期「過去を変えることはできないが、自分と未来は変えることができる」今年のみなさんの活躍を楽しみにしています。

やればできる!君たちならできる!

令和6年生徒会スローガン 伝 ～自ら広げる思いやりの心～

始業式の後、新生徒会執行部から「令和6年生徒会スローガン・チャレンジ目標」の発表と役員所信表明が行われました。

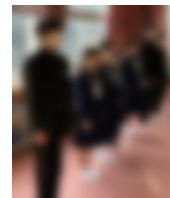
生徒会スローガンは…

「伝」～自ら広げる思いやりの心～



チャレンジ目標は…

- ① あいさつ「時と状況に応じてさわやかに」
- ② 返 事「自分の意志で誠実に」
- ③ 感 謝「身近な人にも地域の人にも行動で」



となりました。すてきな生徒会スローガン・チャレンジ目標が発表されました。

新生徒会執行部・専門委員長は昨年12月26日(火)27日(水)に集まり、リーダー研修会を行いました。校長・生徒指導主任・生徒会担当からの講話もありましたが、メインは生徒会スローガン・チャレンジ目標を決め、錦中生にどのように伝えるか、ということでした。

錦中学校を今以上に「温かく思いやりがあふれる学校にする」ということが新生徒会の大きなテーマとなっていました。そのためには、「あいさつ」「返事」「感謝」の気持ちをもっと自分から表現していくことが必要で、「あいさつ」「返事」「感謝」をより多くの人に「伝える」ことを大切にしていきたいという思いから決まったようです。

自分からあいさつをし、相手の話を誠実な態度で聴き、感謝の気持ちを行動で示すことで「温かく思いやりがあふれる学校」になると生徒会執行部・専門委員長は考えています。錦中生全員が同じ思いをもち、同じ方向に進み、よりすてきな錦中学校にいきましょう。

新生徒会執行部・専門委員長のみなさん、すてきな所信表明でした。「初心忘るべからず」今の謙虚な気持ちを忘れてないで、錦中生を引っ張ってってください。君たちならできる!

【令和6年 生徒会執行部・専門委員長】

会長 2年 Tさん 副会長 2年 Fさん 事務局員 1年 Hさん 事務局員 1年 Hさん

学級委員長 2年 Fさん 図書委員長 2年 Kさん 環境美化委員長 2年 Mさん

健康安全委員長 2年 Yさん